

大竹 孔三 先生      科目：音楽療法入門

音楽療法入門の授業内容を作る上で大切にしたいことは3つあります。1つ目は「考えるより感じる」ことでした。そのために、セラピーを受けてどのような気持ちになるのかを、リズムの掛け合いを楽しんだり、馴染みの歌を全員で歌ったり、実際のセッションで使われる楽器を小グループで演奏してもらい、体験してもらいました。学生からは、「普段接することのない学生同士が音楽で1つになれてうれしかった」「皆の前で楽器を演奏することは最初恥ずかしかったけど、楽しかった」などの感想をいただき、少しセラピーの世界に触れてくれたのかなと思いました。

2つ目は「実際のセッションの映像を取り入れること」でした。自分が受け持ったセッションの前期－中期－後期を映像で紹介しました。1つの映像は2分から3分の長さにおさめて、ポイントが分かりやすいように編集しました。学生からの感想でも、映像に関するものがとても多かったので、心に響いてくれたと実感しております。

最後に、「楽しむ・楽しんでもらう」ことを意識しました。まずは私自身が楽しいと感じないと、学生も楽しくないので、受講してくれている学生たちと授業を楽しむことを意識しながら、授業での語りかけや、選曲をしました。

最後に、講義に参加してくれた学生たちと、このような機会を与えて下さった新潟医療福祉大学に感謝申し上げます。